

豪雨災害から

# 住まいを守る

参加費無料

2023.11.30(木)  
13:30～16:45  
(受付開始 13:00)

会場 日本橋社会教育会館  
8階ホール

申込 事前申込制 定員 185名

令和元年東日本台風では、10月10日から13日までの総降水量が東日本を中心に17地点で500ミリを超え、河川堤防の決壊や土砂災害が発生した。

撮影：2019年10月13日10時ごろ  
千曲川決壊地点（57.5kp左岸）  
（撮影：二瓶泰雄）



(撮影：田村和夫)

浸水によって、私たちの生活の拠点となる住宅が飲み込まれ大切な財産を喪失する。

「あなたの住まいは大丈夫ですか?」。この問いに、あなたは「はい」と答えられますか。日本は、台風の襲来や線状降水帯の発生によって、毎年のように全国各地で極端な大雨が降り、河川の氾濫や土砂災害が住宅を直撃し甚大な被害が出ています。そのたびごとに、「このようなことは今までなかった」「まさか、わが家が被災するとは思わなかった」と被災者が話す姿を、私たちはメディアを通して目の当たりにしています。しかし、これは決して他人事ではありません。なぜなら、私たちが住む街もいつ大雨に見舞われるかわからないからです。

「今までに経験したことのない大雨」が頻発する中、セミナーでは私たち市民一人ひとりができる住まいの備えについて一緒に考えていきます。